

第二次中期経営計画（工業用水道事業）における 平成22年度実績の評価結果の公表について

愛媛県公営企業管理局

平成22年3月に策定した第二次中期経営計画（工業用水道事業）では、設定した主な指標（数値目標等）について、年度ごとに推移を把握し、評価を行ったうえで、広く公表することとしています。

ついては、平成22年度実績の評価結果を次のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

1 数値目標（10・11ページ）

工業用水道事業では、「（1）工業用水の安定的な供給体制の確立」、「（2）受水企業とともに歩む事業の実現」、「（3）危機に強い運営体制の整備」、「（4）環境に配慮した事業の実施」、「（5）東予インダストリアルパークの早期分譲」の5項目を基本目標とし、（1）及び（3）～（5）の4項目に数値目標を掲げて経営に取り組んでいます。

平成22年度における数値目標の達成状況は以下のとおりです。

【平成22年度における数値目標の達成状況】

（1）工業用水の安定的な供給体制の確立

項目	計画年度	目標値	平成22年度の状況
契約給水量	H22年度末 (H31年度末)	231,912m ³ /日 (249,220m ³ /日)	224,075m ³ /日 (長引く景気の低迷や、水使用の合理化などにより、企業の水需要が伸び悩んでいるため、目標値に達しませんでした。)
遊休資産売却面積	H29年度まで	1,700m ²	14.12m ² (一箇所の遊休資産について、売却の問い合わせがあり、売却に向けた準備を進め、一部を売却しました。)
耐震化診断率	H23年度まで	建物 100%	36% (計画的に耐震化診断を実施しています。)
	H26年度まで	構築物 100%	38% (計画的に耐震化診断を実施しています。)

(3) 危機に強い運営体制の整備

項目	計画年度	目標値	平成22年度の状況
危機管理マニュアル等の整備	H23年度まで	東南海地震等の対策、大規模風水害の対策	東南海地震等を対象危機事象として、業務継続計画の策定作業を行いました。
	H24年度まで	その他(テロ等)の対策	未着手 (今後着手予定です。)

(4) 環境に配慮した事業の実施

項目	計画年度	目標値	平成22年度の状況
LED照明等の採用率	H26年度まで	照明施設の5%以上	1% (一部事業所にLED照明を導入しました。)

(5) 東予インダストリアルパークの早期分譲

項目	計画年度	目標値	平成22年度の状況
分譲面積	H29年度まで	12ha (完売)	0ha (パンフレットや名刺を活用したPR活動や企業訪問を行うなど、早期分譲の実現に努めましたが、長引く経済不況の影響等で、22年度の分譲実績はありませんでした。)

2 中期経営見通し（16・17ページ）

中期経営見通しにおける平成22年度の決算等の状況は以下のとおりです。

（1）損益収支

（単位：百万円）

	平成21年度 【実績】	平成22年度	
		見込	実績
契約給水量（m ³ /日）	221,725	231,912	224,075
総収益	1,440	1,488	1,418
經常収益	1,440	1,488	1,418
給水料金収入	1,324	1,412	1,337
その他	116	76	81
特別利益	0	0	0
総費用	17,885	1,252	1,185
經常費用	1,390	1,252	1,185
人件費	262	312	245
修繕費	167	51	130
減価償却費	430	465	434
支払利息	368	216	217
その他	163	208	159
特別損失	16,495	0	0
損益	△16,445	236	233

（2）企業債残高

（単位：百万円）

	平成21年度	平成22年度	
		見込	実績
企業債総額	9,801	9,312	9,312

3 今後の方針等

公営企業管理局では、これら各年度の実績を翌年度以降の経営に活かすとともに、社会情勢の変化、事業実施状況の変化等に対応しながら、適切に計画を見直し、経営の健全化を図っていくこととしています。